

平成 27 年度前期 在宅医療・介護推進のための多職種連携研修会 受講後アンケート集計結果

(平成 27 年 9 月 27 日開催)

*一部抜粋

(医師)

- ・認知症初期集中支援チームについて理解することができて良かった。認知症カフェの実際の活動について知ることができてよかった。地域包括ケアシステムの中心が地域包括支援センターであると理解できた。
- ・城間先生には、「コウノメソッド」の話をして頂きありがとうございました。河野先生の講演をきくことができないので、これからも積極的に「コウノメソッド」の普及をお願いしたいです。
- ・口腔ケアの重要さがバイオフィルムのことからもよくわかりました。多職種の口腔ケアに関する関わりもよくわかりました。ありがとうございました。
- ・時間が足りないと感じました。(たぶん増やしても同じかもしれませんが) いつも立派なテキスト資料が準備され、講師も素晴らしいです。これからも頑張ってください。

(歯科医師)

- ・現状の施策と浦添市の先進性がよく理解できた。
- ・事例検討を通して色々な職種の方とグループワークができて、色々な角度から検討できてよかった。コウノメソッドについては、医師、歯科医師、看護師以外の方々には少し理解しづらいのではと思われた。
- ・口から食べることを持続させるために必要なチームアプローチが理解できて良かったです。
- ・グループワークは KJ 法にこだわらなくても良いと思います。

(歯科衛生士)

- ・初めて多職種の方々との研修会に参加しました。こういう機会は非常に大切だと実感しましたし、これからも参加していきたいと思いました。他の方々の意見や情報がとても参考になりました。
- ・認知症の方に対する接し方が変わると思います。心の声を聞いていませんでした。これからは愛を持って接していこうと思います。
- ・これからは、口腔ケアがとても大事になると思います。終末期で、最後までできるのは「口腔ケア」だと感じました。でもまだまだ認知されていません。これからも研修会、啓発活動がんばってください。

(薬剤師)

- ・浦添での認知症初期集中支援チームについて知る事ができてよかった。ただチームのメンバーに薬剤師の職種がないのは残念。
- ・コウノメソッドの本をぜひ読んでみたいと思います。自薬局では在宅をやっておりませんが、今後ぜひ関わりたいと思います。
- ・口腔ケアの必要性を改めて勉強しました。患者様へケアの重要性をお伝えしていきたいです。

・多くの職種の方と同じ課題に向けてディスカッションすることで、見方が広がった
思います。

(看護師)

・現状が知れて、今後私達専門職はどう関われるか考えることが求められていることを
再認識できました。

・認知症カフェなど、市全体で取り組みに積極的なことがわかる。他市町村への発信、
連携が進むことを期待する。

・認知症専門の相談先がとても充実しているのを初めて知りました。具体的な活動や、
待っているだけでなく、こちらから動いていく体制があったらよいと思った。

・認知症の患者さんの言葉がとても感銘を受けました。相手の心の声を聴ける専門職で
ありたいと思いました。

・認知症の薬物治療による周辺症状の改善に関する学びに加え、心理的ケアの改善例に
より「すべての活動は言語活動である」とあるように患者・利用者に寄り添って、本人
の気持ちからケアを考えていきたいと思います。

・在宅での口腔ケアのあり方、ターミナルまでの食事のアプローチを考える機会になり
ました。

・宮古島との中継はとてもよかった。

・質疑応答の時間が少しでもあると良い。

(保健師)

・市は、市の立場として様々な認知症施策に取り組んでいることがわかった。事業を行
っていくうえで、多職種と連携を行いながら更なる推進をしていくことが大切だと感じ
た。

・城間先生のお話しは、衝撃的なワード「危険な医療従事者」というスライドが逆に現
実的な医療状況をしっかり認識させるテクニックで、“ケア”を“アセスメント”をど
れだけ重点的に実施しなければいけないかを教えて頂きました。

・一人の患者さんのライフステージに添って、様々な多職種が関わってくることが多い
と思います。それぞれが役割をもって関わることができ、在宅で本人の満足のいく死を
迎えられるよう、栄養状態の改善や維持をしていくために口腔ケアが大切であると感じ
ました。

・多職種連携研修会は「医療・介護連携」の核となるツールだと感じました。

(栄養士)

・医療・介護の連携が取れていてとても良いと思いました。多職種の方とお話ができて
良かった。

・栄養と口腔について勉強させてもらい良かったです。ありがとうございました。

(理学療法士)

・現在どういうことをやっているのかを知れて良かったと思います。お金がない人に対
してどうやっていくかが重要かなと思います。

・他市の認知症施策がどのようなものか知らないため、よくできているなどは一概には
言えないが、認知症カフェの開催など、認知症に関する事業が多くあり良いと感じた。

- ・時間に追われている業務の中で、認知症の患者様のお話を傾聴したくても、なかなか難しかったりすると思う。傾聴する時間を設けるなどしてもいいと思った。
- ・終末期までの口腔ケアの流れ、意見を聴けて良かった。
- ・宮古との遠隔での研修は斬新でした。発表の際、タイマー掲示しているのので、発表者も意識していたような気がする（時間どおり）

(作業療法士)

- ・認知症の初期に対応できるシステムは素晴らしいと感じました。しかし、老々生活を行っていて、家族が近くにいない方に対してはどのように把握していくのでしょうか？より多くの方が関心をもって頂くためにも、対象者周囲にいる方々もしっかりとした知識を持ち、そのような対策を知る必要があると感じました。
- ・認知症の初期から支援ができる施策は素晴らしいと思いました。各市町村で取り組みに差が出ないように介護支援できたらいいなと思いました。認知症カフェもいい取り組みだと思いました。
- ・コウノメソッドに興味が持てました。自分でも調べてみようと思いました。
- ・今後やはり訪問による「口腔ケア」が利用しやすい様になれるといいと思います。地域に歯科医師が根付いた町であってほしいと思います。
- ・宮古とのつながりがあって良かったです。でも、音声が少し残念に思いました。

(言語聴覚士)

- ・認知症のカフェや地域で見守ることの重要性と、これからの対策について考えさせられました。
- ・認知症のタイプ別に症状が変わり、個別に対応した心理的ケアも必要だということを知ることができました。
- ・歯がない人でも口腔ケアが必要であることを学ぶことができました。
- ・少し時間が長いと思います。認知症が増える中、私も院外についてのアプローチの仕方や制度、制作について学ばなければいけないと再度考えさせられました。

(認知症地域支援推進員)

- ・推進員として任されている仕事の責任を感じました。連携を大切に頑張ろうと思います。

(社会福祉士・医療ソーシャルワーカー)

- ・県内初の取り組みは参考になります。第一の段階でサービス利用に繋げる前の支援は重要であり、また地域での見守り体制は今後とても重要だと感じます。
- ・認知症の治療の方法、診断について学ぶ事ができて良かったです。また、グループワークで他の職種からの視点、考え方などを学びました。最後の心理士の事例を読んで、私の施設でもこのような方がいるので「ちゃんと話を聴けているかな？」と考える機会となりました。
- ・口腔については意識が低かったことを実感しました。食べること＝生きること、再確認しました。
- ・できれば土曜日の午前中と日曜開催は避けて欲しい。

(介護支援専門員)

- ・認知症の方が住み慣れた地域で生活が続けていけるよう、自分もサポーターの一人として考えていきたいと思えます。
- ・認知症が増加していく中、予防策として何かできないか？ 予防デイみたいなもので、頭を使うことを早い段階からできることはないのかなと思った。
- ・市の積極的な取り組みは今後増え続ける認知症への対応、効果が期待できると感じた。
- ・薬での治療がこのように進んでいることのPRが不足していると思う。
- ・グループ内でセッションしやすいようにシート作成してもらい多職種間で話し合いやすかったと思えます。
- ・口腔環境を改善するための方法をいくつも学びました。口腔ケアの道具等の情報も欲しいです。(最新のもの等)
- ・ユーストリームを使用しての視聴ができる仕組みは大変良い取り組みだと思えます。
- ・宮古島との中継が聞き取りにくかった。

(介護福祉士・介護職員等)

- ・介護関連の仕事に従事している人達に知ってもらいたい。多くの職種の人達が大いに研修を行えるような機会があることはうれしいことである。
- ・いち早く施策に取り組まれている浦添市のように、各市町村でも大きな動きが見られることを期待しています。認知症の理解者を増やし、サポートしていけるようにできますように。
- ・勉強不足のため、浦添市の認知症の多さにビックリしたのと、認知症のことが少しずつわかりました。この資料はいつも手元に置いて仕事に役立てたいと思いました。
- ・薬については医師と薬剤師のみの領域であったと思っていましたが、そうでは無く、介護に於いてもしっかりと知識を持ち、積極的に関わる事が重要であると認識出来ました。また認知症の人との関わりが薬と同等以上の役割を持っている事も気付かされました。グループワークも多くの職種の考えを聴く事が出来て参考になりました。
- ・口腔ケアについて参考になりました。歯科医からお話を聞ける機会があまりないので勉強になりました。
- ・セッション系で話し合う時間を取れたので、実際の現場を感じることができて学ぶことができました。

(その他) * 事務職、職種未記載

- ・認知症薬の効果のビフォーアフターを写真で比べ劇的な変化がこれほどまでに現れるのを知らなかった。仕事上、降圧剤や心疾患、抗菌剤ばかりに気を取られていたので、今回の講義で認知症治療の可能性に興味を持てた。グループワークの発表では、他職種の視点(行政、リハビリ、利用者、家族へのサポート方法など)から学ぶ事が多くあった。
- ・嚥下能力も考えながら全身状態(褥瘡など)を踏まえ、家族の希望をできる限り実現させることの難しさを知った。